Ⅱ. 連結決算の概要

当第2四半期連結累計期間の収支につきましては、収入面では、販売電力量の減少はありましたが、燃料価格の上昇による燃料費調整制度の影響や再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などにより、営業収益(売上高)は、前年同期に比べ94億円(2.8%)増加の3,438億円となり、これに営業外収益を加えた経常収益は、86億円(2.6%)増加の3,448億円となりました。

支出面では、経営全般にわたる徹底した効率化への継続的な取り組みのもと、火力発電所の定期検査 基数の減少による修繕費の減少などはありましたが、燃料価格の上昇や渇水による燃料費の増加に加 え、再生可能エネルギーの固定価格買取制度の影響などにより、営業費用は、前年同期に比べ187億 円(6.0%)増加の3,305億円となり、これに営業外費用を加えた経常費用は、183億円 (5.7%)増加の3,387億円となりました。

以上により、営業利益は、前年同期に比べ92億円(\triangle 41.1%)減少の133億円、経常利益は、97億円(\triangle 61.6%)減少の60億円となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、63億円(\triangle 54.0%)減少の54億円となりました。

連結収支比較表 (単位:百万円)

						* * *
			前第2四半期 連結累計期間	増減	前年同期比%	前 期
		(A)	(B)	(A) - (B)	(A) / (B)	
経常	営業収益(売上高)	343, 844	334, 379	9, 465	102.8	702, 776
	電気事業営業収益	328, 646	321, 407	7, 238	102.3	675, 471
常収	その他事業営業収益	15, 198	12,971	2, 226	117. 2	27, 305
益	営 業 外 収 益	981	1,803	△ 822	54.4	2, 598
	合 計	344, 825	336, 183	8,642	102.6	705, 375
経常	営 業 費 用	330, 540	311, 775	18, 764	106.0	675, 333
	電気事業営業費用	317, 319	300, 694	16, 624	105. 5	652, 002
常費用	その他事業営業費用	13, 220	11,080	2, 139	119. 3	23, 331
用用	営 業 外 費 用	8, 241	8,652	△ 411	95. 2	17, 438
	合 計	338, 781	320, 428	18, 353	105. 7	692, 771
	営 業 利 益]	[13, 304]	[22,603]	[\(\triangle \) 9,299]	[58.9]	[27, 443]
経	常 利 益	6, 044	15, 754	△ 9,710	38.4	12, 603
渇	水準備金引当又は取崩し	△ 1,178	1,576	\triangle 2, 755	_	1, 208
特	別損失	_		1		1, 638
税。	金等調整前四半期(当期)純利益	7, 222	14, 178	△ 6,955	50.9	9, 755
法	人 税 等	1, 618	2, 386	△ 767	67.8	498
兀	半期(当期)純利益	5, 603	11, 792	△ 6, 188	47.5	9, 257
非支	配株主に帰属する四半期(当期)純損益	158	\triangle 34	192	_	463
親会	社株主に帰属する四半期(当期)純利益	5, 445	11,826	△ 6,381	46.0	8, 793
(A) (A) II Limit (A) A let en A semint (In Albita) Ability Ability (In In Albita) (In In Albita) (In In I						

- (注1) 非支配株主に帰属する四半期(当期)純損益欄の△は、損失を示しております。
- (注2) 今年度第1四半期より、税金費用について、税引前四半期純利益に年間見積実効税率を乗じて計算する方法から、年度決算と同様の税金費用計算を簡便的に行う方法に変更しております。この会計方針の変更は遡及適用され、前第2四半期連結累計期間については遡及適用後の数値を記載しております。

連結対象会社

連 結 子 会 社		持分法適用会社
北海電気工事㈱	北海道計器工業㈱	北電総合設計㈱
北電興業㈱	北海道パワーエンジニアリング㈱	㈱ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網㈱	
ほくでん情報テクノロジー㈱		